

2023年4月23日

## 2022年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 長くつ下のピッピ食堂  
代表者・役職名 氏名 勝田克巳(総責任者)

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

真如苑こども食堂支援助成

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2020年12月設立。「誰も取りこぼさない先に見える笑顔のために」とこども食堂を始めようとしていましたが我が家は井戸水のため、なかなか保健所から認可が下りず、5か月後に活動開始し3年目に入ります。現在はこども76名、大人64名になりました。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

参加人数が増えるにつれ、1升炊きの炊飯器2個では間に合わず、ずっと大きなお鍋、広い二層式シンク、2升炊きの炊飯器が欲しくてたまりませんでした。お陰様で、大きなお鍋を楽に洗えるシンク、50人のお弁当も作る手間も楽になりました。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

子どもたちへのお菓子やおもちやも助成金の中で可能でしたので、助かりました。テイクアウト弁当の配布ですが、気心が分かってくと、こども達も帰りがたがらず、一枚量を敷いて、おもちゃで遊び始めます。ママたちも、お茶を飲みながら育児相談会が始まります。楽しい笑顔に出会うことで、こちら側が活力を頂きます。ママ達との交換日記も好評です。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

笑顔のほとんど見えなかったママも少しづつ笑顔が増えたり、シングルで子育てで疲れて「昨日、この子をぶっちゃけたのよ」とあつけらんと言えようになっただママを見てると、この居場所を作ってほんとに良かったと思います。また、小さな命も4人誕生しました。抱っこして、「この子が大きくなるまで、私は生きていないな」と思うと寂しくなりますが、後に続くボランティアさんを育てたいと頑張る気にもなります。実地回数は78回です。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

「食事と笑顔」と思って活動させていただいていますが、実は、たくさん課題ややらなくてはならないものが見え来たのも事実です。ひとり親世帯の人も増えてきました。障害児を育てていらっしゃるママ、また親御さんが障害のある方、体操着も買えない、塾に行くお金も厳しい、など、リっぱなお家に住んでいい車に乗っていても、生活の実態は厳しいのが分かってきています。学習支援や移動式でお弁当を配布する方法など課題になっています。

### 7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。



# ありがとうございました

